

第1学年 国語科学習指導案

1 題材名 今に生きる言葉

2 題材について

(1) 題材観

現代の私たちの言語生活において、生活用語にみられる欧米からの外来語は、おびただしい数に上っており、このような状況は今後も続いていくと思われる。しかし、日常使っている私たちの言葉を振り返ってみると、今でも名言、名句・故事成語など、中国古典に由来するものが数多く存在する。中国の故事成語は、日本の古典の中に取り入れられ、それが今日まで使われてきたものである。故事成語は、古典であると同時に、今も生活の中で使われている言葉の一つなのである。

本題材は、中学校の漢文学習の導入教材として位置付けられており、故事成語を教材とした親しみやすい内容になっている。中でも「矛盾」は、日常、使用する機会の多い言葉であり、その背景の故事を知ることは、言葉への関心を高め、また中国の古典や先人の知恵についての興味を抱くことにつながるものと思われる。また、他の故事成語についても学ぶ機会をつくり、その故事成語と自分の体験を結びつける活動を通して、故事成語が「今に生きる言葉」であることを実感させたい。

本学級の生徒はこれまで、古典作品として「いろは歌」や「竹取物語」の学習を終えている。その学習の際に、歴史的仮名遣いなど基本的な文語の決まりを学び、古典特有の文章のリズムを感じながら音読をし、作品に描かれているものの見方や考え方について関心をもつことができている。学習への取り組みを見ていると、答えを本文の中に求めるような質問に対しては、手を挙げて発言したり、つぶやいたりする生徒が多い。しかし、自分の意見や考えを書いたり発表したりする場面になると、自分の考えをうまく表現できずにいる。そのため他者とのかかわりの中で自分の考えが表現できるように活動を工夫していきたい。

本題材は、書くことの活動を通して、伝統的な言語文化に関する事項（ア）を重点指導事項とする。指導にあたっては、「矛盾」以外の故事成語の意味や由来を調べることで、故事成語に対する興味・関心を高めたい。そして、調べた故事成語と自分の体験とを結びつけて体験文を書くことを通して、故事成語が自分たちにとって身近な言葉であるという意識をもたせることをねらいとしたい。また、少人数グループで意見交換をすることで、自分の考えを表現し、共有する力を身につけさせたい。

(2) 題材のねらい

- ・故事成語とは、どのような言葉か、どんな由来があるかを理解することができる。
- ・「矛盾」の書き下し文を現代語訳を参考にしながら読み、故事の内容が理解できる。
- ・漢文特有のリズムに慣れ、その特徴や訓読について理解することができる。
- ・「矛盾」以外の故事成語の意味を調べ、理解することができる。
- ・故事成語の意味や由来に沿って体験を選び、伝えたいことを明確にして体験文を書くことで、故事成語が身近な言葉であることが理解できる。

(3) 題材の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・故事成語が中国の歴史的な事実やエピソードを背景にした言葉であることを理解している。・故事成語の意味や由来を理解した上で、それに沿った体験文を書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・自分の生活の中から故事成語に合った体験を選び、伝えたいことを明確にして書いている。	<ul style="list-style-type: none">・「矛盾」の書き下し文を現代語訳を参考にしながら読み、語句の意味と文章の内容を理解している。	<ul style="list-style-type: none">・訓読の基本的な事項を理解している。・漢文特有の簡潔なリズムで、正確に音読している。・「矛盾」以外の故事成語の意味と由来を調べ、理解している。

(4) 指導と評価の計画【全4時間】

時	ねらい・学習活動	主な言語活動	評価規準				評価方法
			国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	
1	漢文特有のリズムに慣れ、その特徴や訓読の仕方を理解した上で、故事成語とは、どのような言葉か、どんな由来があるかを理解することができる。		漢文に関心をもち、故事成語の基になった漢文を読もうとしている。			・訓読の基本的な事項を理解している。 ・漢文特有の簡潔なりズムで、正確に音読している。	ワークシート 学習の様子を観察
2	「矛盾」の書き下し文を現代語訳を参考にしながら読み、故事の内容を理解できる。	「矛盾」を読み、故事の内容を理解した上で、四コマ挿絵に合うセリフを書く。	「矛盾」がどのようなエピソードを背景にもっているのか考えようとしている。	現代語訳を参考にしながら、四コマ挿絵に合うセリフを書くことができる。	「矛盾」の現代語訳を参考にしながら、四コマ挿絵のセリフを書くことで、語句の意味と文章の内容を理解している。		ワークシート 学習の様子を観察
3	「矛盾」以外の故事成語の意味を調べ、理解することができる。		他の故事成語に興味をもち、国語辞典等を利用し、意味を調べようとしている。			「矛盾」以外の故事成語の意味と由来を調べ、理解している。	ワークシート 学習の様子を観察
4 本時	故事成語の意味や由来に沿って体験を選び、伝えたいことを明確にして体験文を書くことで、故事成語が身近な言葉であることが理解できる。	故事成語を使って伝えたい体験を考え、体験文を書く。	故事成語の意味や由来を理解した上で、それに沿った体験文を書くようとしている。	故事成語の意味や由来に沿って体験を選び、伝えたいことを明確にして体験文を書くことができる。			ワークシート 学習の様子を観察

3 本時の学習について

(1) 本時のねらい

故事成語と自分の体験とを結びつけて体験文を書くことを通して、故事成語が自分たちにとって身近な言葉であるという意識をもつことができる。

(2) UD3視点（焦点化・視覚化・共有化）の工夫

- ・「漁夫の利」を示す絵を提示する。【視】
- ・本時目標を黒板に示し、本時の学習の見通しをもたせる。【焦】
- ・提示された文を並び替え、体験文を完成させることによって、「いつ、どこで、だれが、どうした」がはっきりしている体験文を書くことを確認させる。【視】【焦】
- ・各自で書き出したものを小グループで発表することで、故事成語と体験が結びついているか確認させる。【焦】
- ・何人かの生徒にどのような体験と故事成語を結びつけているか発表させる。【共】
- ・体験文を書くための条件をホワイトボードで示し、全体で確認する。【視】

(3) 準備

ワークシート、ホワイトボード、作文用紙、辞書、資料集

(4) 本時の学習過程 (第4時/全4時間)

学習活動	○発問 ・ 予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】(方法)※手立て	時間
前時の学習を振り返る。	○この絵が表す故事成語は何だろう。 ・「漁夫の利」	・「漁夫の利」を示す絵を提示する。【視】 ・前時に調べた故事成語の中に答えがあることを示す。 ・「漁夫の利」の由来・意味を示す。	3/5
本時の目標を知る。	「故事成語と自分の体験を結びつけ、体験文を書こう。」	・本時目標を黒板に示し、本時の学習の見通しをもたせる。【焦】	
「漁夫の利」を使った体験文を読み、体験文の書き方を知る。	○提示する文を用いて、「漁夫の利」を使った体験文を完成させ、体験文の書き方を確認しよう。 ・提示された文を並び替え、意味の通る文章にする。	・提示された文を並び替えることによって「いつ、どこで、だれが、どうした」がはっきりしていることを確認させる。 【視】【焦】	10/13
自分の体験の中から伝えたい体験、伝えられそうな体験について材料を集める。	○故事成語を使って伝えたい、伝えられそうな体験を書きだしてみよう。 ・前時に調べた故事成語を見ながら、故事成語の由来・意味を確認し、それに沿った体験を思い出している。	・前時に調べた故事成語の中から、同じような体験があるものに関して、ワークシートにできるだけ多く書き出させる。	5/18
どのような体験と故事成語を結びつけているか発表する。	○どのような体験と故事成語を結びつけたのか発表しよう。 ・小グループの中で自分の書き出したものを発表している。	・各自で書き出したものを、小グループで発表することで、故事成語と体験が結びついているか確認させる。【焦】 ・何人かの生徒にどのような体験と故事成語を結びつけているか発表させる。【共】	10/28
集めた材料を選材し、構成を考へて故事成語を使った体験文を書く。	ワークシートに書いた故事成語と体験の中から、実際に体験文として書くものを決め、体験文を書いてみよう。	<p>・体験文を書くための条件をホワイトボードで示し、全体で確認する。【視】</p> <p>○故事成語の意味や由来に沿って体験を選び、伝えたいことを明確にして体験文を書くことができる。 【書く能力】【伝統的な言語文化に関する事項】(観察・作文用紙) ※「漁夫の利」を使った体験文を参考にしながら、文章を組み立てていくように促す。 ※体験を文章にできない生徒には、「いつ、どこで、だれが、どうした」を書き入れたら体験文の形ができるワークシートを渡す。</p>	15/43
体験文を発表する。	○体験文が書けた人は発表してみよう。	<p>・全体の進み具合を確認し、何人かの生徒に発表させる。</p> <p>○故事成語が自分たちにとって身近な言葉であるという意識をもつことができる。 【関心・意欲・態度】【伝統的な言語文化に関する事項】(発表) ※友達や自分が書いた体験文の内容を思い出させる。</p>	3/46
学習したことを振り返る。	○体験文を書いたことを通して、故事成語について感じたことを発表しよう。 ・自分たちの身近なことが故事成語で表現できることがわかった。 ・故事成語が、今の私たちの行動にもあてはまるのがおもしろい。	<p>・故事成語のおもしろさ、体験文を通して発見したことや気づいたことを引き出したい。</p> <p>・現代の私たちの様々な行いも、故事成語で表現できることを確認する。</p>	4/50